



日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の油流出について (最終報告)

令和3年8月14日(土)に日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区から油が海域に流出したことについて、9月29日(水)に同社から調査結果の提出があり、改善措置について確認しましたので報告します。

1 調査結果の概要

(1) 発生日時

令和3年8月14日(土) 14時50分頃

(2) 流出の原因

8月12日(木)～8月15日(日)の大雨及び潮位の影響により、排水管又は排水側溝に付着していた油脂類が洗い流されたものと推定

(3) 推定流出量

ごく微量(油膜を含んだ排水に関する第三者分析機関による調査結果)

(4) 応急措置の状況

オイルフェンス及び吸着マットの設置による海域流出の防止

2 これまでの呉市の対応状況

(1) 同社の敷地全体の排水系統及びその周辺における油脂類の存在状況の調査を指示

(同社が8月14日(土)に油の流出が確認された排水系統及びその周辺、8月20日(金)～8月31日(火)にその他の敷地全体を調査し、油流出の原因となる要素がないことを確認)

(2) 油が流出した排水口付近で再度の油の流出や海面における油膜の発生がないこと及びオイルフェンス等が適切に設置されていることを週1回確認

3 再発防止のための改善措置

同社による油膜を含んだ排水の海域への流出を防止するための排水側溝の日常的な清掃管理の徹底。

なお、万一の流出に備え、当分の間、オイルフェンス及び吸着マットを継続して設置。